

レイクウォーク岡谷×リバーズプロジェクト アートオブジェ「Diamond Cocoon(ダイヤモンドコクーン)」登場!

7月23日(土) オープンのレイクウォーク岡谷館内にて

ユニー株式会社(本社:愛知県稲沢市、代表取締役社長:佐古 則男)は、2016年7月23日(土)、長野県岡谷市にオープンするショッピングモール「レイクウォーク岡谷」において、株式会社リバーズプロジェクト(本社:東京都港区、代表取締役:伊勢谷 友介)がプロデュースするアートオブジェ「ダイヤモンドコクーン」を設置いたします。

ユニー株式会社は、エコ・ファースト企業[※]として低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を実現させた持続可能な社会を構築するために、企業活動を通して貢献していくことを環境理念として掲げています。株式会社リバーズプロジェクトは、「人類が地球に残るためにはどうすべきか?」という命題のもと、私たち人間がこれまでもたらしてきた環境や社会への影響を見つめなおし、未来における生活を新たなビジネスモデルと共に創造していくために活動を進めています。

「ダイヤモンドコクーン」は、両社の想いと活動を、岡谷ブランドの一つである「シルク文化」をモチーフに融合させ制作されたものです。絹の歴史と美しさが視覚的に体感できると同時に、繭に抱かれているような心地よさと安心感を表現しており、諏訪エリア最大級規模のショッピングモールとして、地域の皆様にとって憩いの場所でありたいというレイクウォーク岡谷の想いとも重なっています。

※エコ・ファースト企業:環境省が認定した環境保全に関する各業界のトップランナー企業で、当社は2008年4月21日に環境大臣より認定されました。

【「ダイヤモンドコクーン」について】

岡谷市は、2014年に岡谷ブランドの方向性を“湖に映える、美しいものづくりのまち”と定め、特に養蚕・絹産業により近代日本の発展に貢献を果たした歴史を持つことから、ブランディング戦略の中心に「新しいシルク文化がうまれるまち」「童画とアートに出会えるまち」を置いています。このような岡谷市の活動を背景に、岡谷ブランドの一つである「シルク文化」を象徴する繭(コクーン)をモチーフに、アートオブジェ「ダイヤモンドコクーン」は制作されました。

◆完成予想図



2階フードコート



2階、3階レストスペース